

～下記の研究を行います～

【課題名 DPC／JANIS データ活用による耐性菌感染の 病院経営への影響 ーペニシリン耐性肺炎球菌（PRSP）感染 他ー】

当院では、以下の臨床研究を実施しております。

【研究課題名】 DPC／JANIS データ活用による耐性菌感染の病院経営への影響
ーペニシリン耐性肺炎球菌（PRSP）感染 他ー

【研究責任者】 平岡 紀代美

【研究の目的】「薬剤耐性 AMR 対策アクションプラン」が決定され、2020 年までの各種抗生物質に対する抗生物質の耐性率の数値目標が設定されている。また 2018 年 3 月 6 日 DPC 調査結果報告において「特定抗菌薬の使用状況」が公表された。それに伴い当院における抗生物質の使用状況や薬剤耐性菌感染による追加的医療資源を検証することとした。

【研究の期間】 研究許可日～2019 年 3 月 31 日

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2016 年 4 月～2018 年 3 月入退院患者

●研究に用いる試料・情報の種類

①患者基本情報：主病名 ICD、CCI、術式 K コード、性別、年齢区分、呼吸ケア有無、在院日数及び出来高医療費等

②疾患情報：PRSP 感染、非感染者のケースコントロールマッチング

【研究の資金源】 なし

【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI（シーオーアイ）：Conflict of Interest）とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

本研究は、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反はありません。

- ◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
- ◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
- ◎試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

国立病院機構姫路医療センター 企画課

〒670-8520 姫路市本町 68

TEL (079) 225-3211 (代)

研究責任者

企画課 診療情報管理士

平岡 紀代美